「ありたいまち（案）」を考える視点

「総合計画審議会中間答申」及び「市民懇話会提言」を踏まえ、将来の尼崎市の「ありたいまち（案）」を整理。

総合計画審議会中間答申を踏まえた考え方

時代認識と尼崎市の現状（参考① 参照）

- ■人口減少、少子高齢化の影響
- ■経済のグローバル化に伴う地域社会への影響
- ■情報社会の可能性
- ■地域主体のまちづくり

→
- ・少子化・高齢化の進行や社会経済情勢の変化に伴い、コミュニティの希薄化等、地域社会が変化しつつある。
- ・高齢者や不安定な就業環境にある人々の増加、世帯構成の変化は、互いに支え合い、つながりを保つニーズを高める。
- ・情報を活用すれば、個人や小規模な団体でも様々な活動が可能。
- ・次世代や、社会、地域を担う人材の育成が重要。

- ■経済のグローバル化に伴う地域社会への影響
- ■安全・安心に対する市民ニーズの高まり
- ■厳しい状況下で市民生活を守る工夫
- ■構造的な課題の改善

→
- ・市民の健康、安全・安心の確保は、市民生活を守る上で最重要の要素で、厳しい財政状況にあっても、行政が一定の責任を果たすべき領域。
- ・安定した就労による経済基盤の安定は、意欲を持ちながら安心して暮らすために、また、次世代を育成する上でも重要な要素。
- ・生きがいを持って暮らすためには、年齢に応じて健康を保持し、自立して暮らせることが重要。
- ・入院や介護の必要なく、自立して暮らせることは、保険料や税等の負担の軽減、制度の維持にも繋がる。
- ・年齢に関わらず「社会の支え手」を増やすことにもなる。

- ■求められる都市活力を高める工夫
- ■土地利用
- ■環境問題への取組と可能性
- ■情報社会とまちづくり
- ■蓄積してきた資産の有効活用

→
- ・高い生活利便性は尼崎市の魅力。
- ・産業、歴史・文化などの資源が都市の活力に繋がる可能性。
- ・整備を進めてきた公共施設などの十分な活用。

- ■環境問題への取組と可能性
- ■厳しさを増す財政状況
- ■社会基盤等の老朽化と更新、再配置

→
- ・環境問題は、将来世代の生活環境に影響を与える重要な課題。
- ・財政収支の構造的な乖離は、先送りできない深刻な水準になりつつある。財政問題は、将来世代の市民サービスに影響を与える重要な課題。

「ありたいまち（案）」を考える視点

- 互いに支え合う地域づくりと、そのための担い手の育成・活動支援が必要
- 生活の質を守る観点からも、財政状況の悪化を防ぎ市民サービスを維持する観点からも、市民の健康、安全・安心を確保することは重要な要素。
- 資源を活用・発信することで、活力と魅力あふれるまちとして発展する可能性がある。
- 将来世代のくらしに責任を持ち、よりよいまちを引き継いでいくために、問題を先送りしない積極的な取組が必要。

「5つの地域社会」の要素

- ・まちづくりを担う人材が育つ
- ・人と人とのつながりが豊か
- ・新たな支えあいの仕組みが生まれる
- ・さまざまな年代立場の人が広く社会に参画

- ・地域において資金が循環し、雇用・所得・消費を創出
- ・新たな支えあいの仕組みが生まれる（再掲）
- ・市民一人ひとりが健康

- ・地域の人材が活用される
- ・地域において資金が循環し、雇用・所得・消費を創出（再掲）
- ・域外との交流が活発に行われる（産業振興）
- ・地域資源や既存ストックの活用（ソフト活用）
- ・まちの魅力を高める

- ・環境的負荷を将来世代に転嫁しない
- ・地域資源や既存ストックの活用（ハード維持・更新・再編）
- ・社会・経済的負荷を将来世代に転嫁しない

ありたいまち

- 人が育ち、互いに支えあうまち
- 健康、安全・安心を実感できるまち
- 地域の資源をいかした活力あるまち
- 次の世代に負担を残さず、よりよい明日をつないでいくまち

市民懇話会提言書

※「　」は「目指す将来像」（参考② 参照）

学びたい気持ちに応えてくれるから
「学校での学習環境の整備に加え、家庭や地域も含めたよりよい環境を育むまち」
「生涯を通じて学習できる環境が充実したまち」

地域に個性が活かされているから
「地域の個性を活かしたまつりが楽しめるまち」
「長所を活かし、発信できるまち」

一緒にまちづくりができるから
「市民と行政がともに動くまち」

安心して働き続けられるから
「地元で安定した仕事に就き、働くことができるまち」

健康でいきいき暮らせるから
「誰もが生涯を通じて健康でいきいきと暮らせるまち」

歴史・文化が活きているから
「歴史・文化に親しめるまち」

まちに元気がみなぎっているから
「地元の市場や商店街の活性化により、地域がにぎわうまち」

みんなが環境で繋がっているから
「みんながつくり、発信する花のまち・エコのまち」